

火山から生まれた土地

2つの地殻プレートが出会う場所では、しばしば地球物理学的活動が生じます。ユーラシア、北アメリカ、太平洋という3つの主要なプレートが重なり合う地点の上に位置するのが日本です。したがって、日本で多くの火山活動が見られるのは驚くべきことではありません。北海道、とりわけ支笏洞爺国立公園も例外ではありません。公園内には異なる時代の複数の火山が存在します。そのうち2つ（有珠山と樽前山）は活火山で、有珠山は現存の人々が記憶するだけでも2度噴火しています。このような火山活動との密接した関係こそが、この地方に広がる自然美を作り出したのです。支笏湖、洞爺湖、倶多楽湖という息を飲むような美しさを誇る3つの湖はその全てがカルデラ湖で、太古の火山のクレーターに形成されたものです。また、国立公園内にある数多くの温泉は、地下のマグマによって自然に熱せられた水が地表へと押し上げられた結果なのです。活発な火山活動の歴史なくしては、この土地がこれほどまでに美しくなることはなかったでしょう。